

移動市長室

筑山中学校生徒会

輝く仲間と向き合い、高め合う



通算93回目となる移動市長室を、9月27日(金)に筑山中学校会議室で開催し、筑山中学校生徒会の役員9人と懇談を行いました。

筑山中学校は、生徒数が549人、校訓「自学・友愛・実践」のもと、生徒会を中心に執行部以下、各専門委員会、部活動など日々の活動を行っています。

今回の懇談は二部構成とし、はじめに生徒会からの活動報告とそれを受けての意見交換を、後半には筑紫野市から市の取り組みについての説明を行い、質疑応答を行いました。

一人ひとりが輝けるように

第73期生徒会スローガンは「輝く仲間と向き合い、高め合う」。一

人ひとりが輝くために、仲間の気持ちを考え、お互いに切磋琢磨することを目標として設定されました。このスローガンを軸にさまざまな生徒会活動が行われています。

聴く・あ・じ・み・そ

筑山中では生徒の基本姿勢として「聴く・あ・じ・み・そ」を掲げています。「あじみそ」とは、あいさつ、時間を守る、身だしなみ、掃除の頭文字を取った言葉です。

これらを意識して、生徒会では、あいさつ運動やチャイム席の呼びかけ、無言清掃などに取り組んでいます。継続して活動したことにより、少しずつ成果が出てきたとの報告がありました。委員の一人は、「あいさつを笑顔で返してくれる人がたくさんいます」と、うれしそうに話

世界一人権を大切に作る学校に

生徒一人ひとりに居場所があり、いきいきと過ごせる学校づくりをしている筑山中。「世界一人権を大切に作る学校」を目指しています。その一環として行われているのが「KIZUKIの時間」です。これには、人権や平和について「気付く」、人権を大切にする学校を「築く」という二つの意味が込められています。人権・平和委員が中心となって学校と相談しながら企画を考え、毎月1回放送などで発信しています。また、8月の平和集会など、生徒だけでなく地域の人にも人権や平和について考えてもらう機会をつくっています。生徒も「人権や平和について考える時間が多く、筑山中の生徒でよかったと思います」と誇りを持っていました。

ました。





自分自身の成長を実感

生徒会活動を通して自分が変わったと思うことは？という質問をしました。生徒からは、人前で自信を持って話せるようになった、言われてからでなく自分で先のことを考えて行動できるようになった、人に伝える力がついた、などの回答がありました。堂々と答える生徒の皆さんからは、生徒会活動を通して培ってきた自信が垣間見えるようでした。

市政を知る

最後に、市の取り組みを知ってもらうため、仕事の内容や、予算、総会計画などを説明しました。生徒会の皆さんからは、市長の仕事のやりがいや内容などのほか、新しく事業を始めるときのきっかけや、予算の額は十分か、など、意欲的な質問がありました。市長からは、市民の皆さんの声をよく聞くこと、財源を確保すること、そしてやり遂げた事業で筑紫野市がよりよくなっていくことを目指しています、と回答しました。中学生の皆さんの若く、熱い意見を受け、大変参考になりました。今後の市政に生かしていきます。

参加者からの感想

- 改めて筑紫野市のよさを感じることができましたし、市長さんの熱意を受け取ることができてとても有意義な時間になりました。
- 市長さんからアドバイスをいただいている、私たちの学校生活に生かせることがたくさんあったので、とてもよい経験になりました。

藤田市長の一言

まず皆さんのあいさつの素晴らしさに驚きました。そして黒川生徒会長のもと、生徒会の皆さんが強い結束でまとまっていると感じました。

生徒会のスローガン「輝」を達成していくため、今後とも生徒会が中心となって活動されることを、そして皆さんのその誇りを後輩へと引き継いでいただき、今以上に活発な生徒会活動へ発展していくことを心から期待しています。

私自身も皆さんに負けない熱い心、「輝」を持ってこれからの市政に取り組んでいきたいと思えます。

